

## 要請番号 (JL51517A07)

募集終了



| 国名  | 職種コード 職種   | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次                       |
|-----|------------|------|------|----|------|----------------------------|
| ケニア | G101 青少年活動 |      | 個別   | 新規 | 2年   | ・ 2017/3 ・ 2017/4 ・ 2018/1 |

### 【配属機関概要】

#### 1) 受入省庁名 (日本語)

東アフリカ共同体・労働・社会保障省

#### 2) 配属機関名 (日本語)

メルー リマンドホーム

#### 3) 任地 (メルー) JICA事務所の所在地 (ナイロビ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 4.5 時間)

#### 4) 配属機関の規模・事業内容

リマンドホームは、罪を犯した子どもやストリートチルドレンなど補導・保護され係争中の子どもを、処遇が決定するまで一時的に拘置する施設である。子どもたちの滞在期間は原則3ヶ月だが、裁判所の手続きに左右され長期間滞在する子もいる。その間、子どもたちに生活指導やカウンセリングを行い、規則正しい集団生活を通じて掃除・洗濯・料理等の基本的な生活スキルを指導する。  
配属先はケニア山麓、北東部に位置するメルーカウンティ中心部から13km離れた村落部にあり、2016年5月に開設した新しい施設。収容されている子どもは10-40名程度。

### 【要請概要】

#### 1) 要請理由・背景

リマンドホームの一義的な目的は子どもの拘置であり、教育・更生ではないため、収容者は学齢期の子どもであるにも関わらず、教育(学業、運動、情操)を受ける機会がほとんどない。政府はこの状況を改善しようと子どもたちの学ぶ機会を見直し、リマンドホームへのインフォーマル教育の導入を目指している。  
現状では、配属先に社会復帰につながるプログラムはないが、配属先長はインフォーマル教育をプログラムに組み込みたいと意欲的である。しかし職員は教育関係者ではないため、インフォーマル教育を行うための専門的な知識、経験をもっていない。限られた施設、職員の中で、子どもたちの社会・学業への復帰のために、どんな教育プログラムを提供できるか一緒に考え、実践してほしいと要請に至った。

#### 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.職員と共に施設の現状と子どものニーズを把握する。
- 2.限られた施設・職員・資材で実施可能な基礎教育(プリント学習等)、運動、アート、音楽等の多様な教育プログラムを提案し、実践する。
- 3.子どもたちの記録等、報告書を同僚とPCを利用してまとめ、仕事の効率化を支援する。
- 4.日本文化の紹介等により、異文化への興味関心や学習意欲を引き出す。

#### 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務所スペース、文房具、校庭、PC(共用)

#### 4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】

施設長(30代女性)、副施設長(40代女性)、ソーシャルワーカー、警備員 計4名

【対象者】

6-18歳の男女 10-40名(変動あり)

#### 5) 活動使用言語

スワヒリ語

#### 6) 生活使用言語

スワヒリ語

#### 7) 選考指定言語

### 【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（短大卒） 備考：同僚と同レベルが求められる

[性別]：（男性） 備考：収容者がほぼ男子

[経験]：（ ） 備考：

[参考情報]：

- ・困難を抱える子どものために働く情熱

#### 任地での乗物利用の必要性

不要

### 【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（15～35℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

### 【特記事項】

住居は配属先敷地内の職員住宅(一人暮らし)となる。